

工事完成図CADの インストール手順

新規インストールの手順	P.2
1. ネット認証ライセンスのインストール	P.3
2. 工事完成図CADの新規インストール	P.5
3. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録	P.7
4. 入力専用ライセンスのインストール（「EX-TREND武蔵シリーズ」のみ）	P.10
修復(再)インストールの手順	P.14
1. 工事完成図CADの再インストール	P.15
2. ネット認証ライセンスの更新	P.16
3. 入力専用ライセンスの更新（「EX-TREND武蔵シリーズ」のみ）	P.18
補足	P.19
Q&A.....	P.53

新規インストールの手順

工事完成図CAD の新規インストールは、右図の流れでおこないます。

－ セットアップ時の注意点 －

- セットアップおこなうユーザーは、管理者アカウントでログオンしている必要があります。

管理者アカウントとはAdministratorsグループ(OSによっては「コンピューターの管理者」)に所属し、Windowsのすべての機能が使えるユーザーです。

使用するプロテクトの種類によって、インストールの手順が変わってきます。

● ネット認証ライセンス(占有)(共有)を使用される場合は

- ・ (3ページ)からの手順にしたがって、ネット認証ライセンスと工事完成図CADをインストールしてください。

● ネット認証ライセンス(LAN)を使用される場合は

- ・ (28ページ)「ネット認証(LAN)サーバーのインストール」を参照して、サーバーのインストールをおこなってから、(5ページ)からの手順にしたがって、工事完成図CADをインストールしてください。

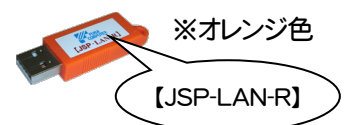
● USBプロテクト【JSP-R】を使用される場合は

- ・ (34ページ)「USBプロテクト【JSP-R】のインストール」を参照して、プロテクトドライバをインストールしてから、(5ページ)からの手順にしたがって、工事完成図CADをインストールしてください。



● USBプロテクト【JSP-LAN-R】を使用される場合は

- ・ (38ページ)「USBプロテクト【JSP-LAN-R】のインストール」を参照して、サーバーのインストールをおこなってから、(5ページ)からの手順にしたがって、工事完成図CADをインストールしてください。



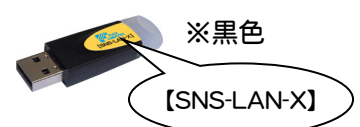
● USBプロテクト【SNS-W】を使用される場合は

- ・ (44ページ)「USBプロテクト【SNS-W】のインストール」を参照して、プロテクトドライバをインストールしてから、(5ページ)からの手順にしたがって、工事完成図CADをインストールしてください。



● USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用される場合は

- ・ (48ページ)「USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール」を参照して、サーバーのインストールをおこなってから、(5ページ)からの手順にしたがって、工事完成図CADをインストールしてください。



－ 新規インストールの流れ －

1. ネット認証ライセンスのインストール



2. 工事完成図CADのインストール



3. 各種資料のインストール



4. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録



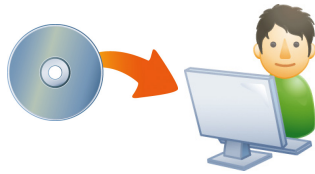
5. 入力専用ライセンスのインストール

1. ネット認証ライセンスのインストール

プログラムのライセンスを管理するために必要な「ネット認証ライセンス」をインストールします。

※ ネット認証ライセンス(LAN)、または USBプロテクト【JSP-R】【JSP-LAN-R】【SNS-W】【SNS-LAN-X】を使用されている場合は、本操作は必要ありません。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス]を押します。(画面のデザインは、商品によって異なります。)

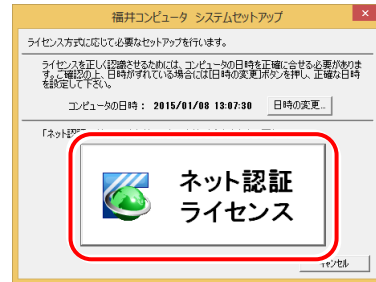
EX-TREND 武蔵 シリーズ



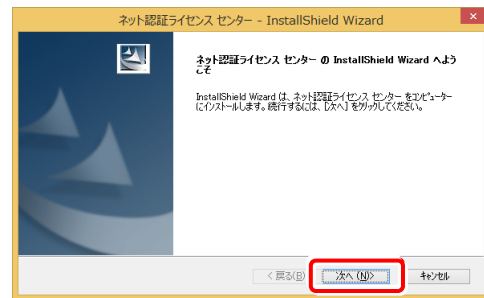
TREND-ONE シリーズ



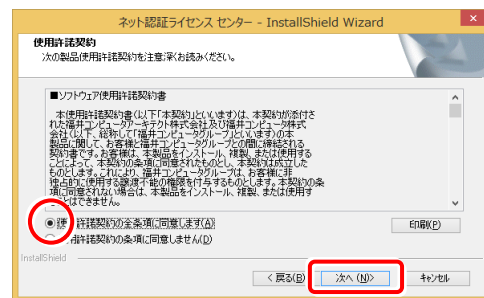
3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス]ボタンを押します。



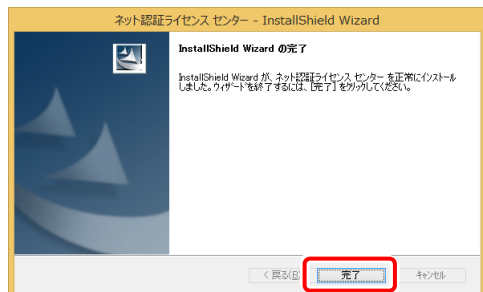
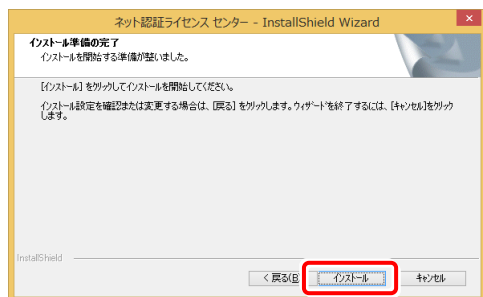
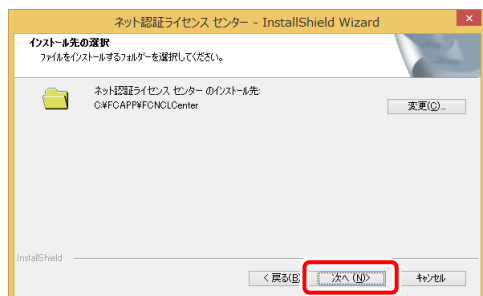
4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)



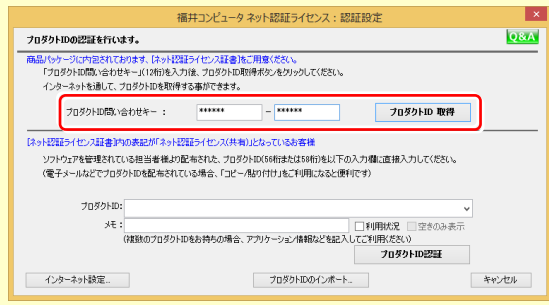
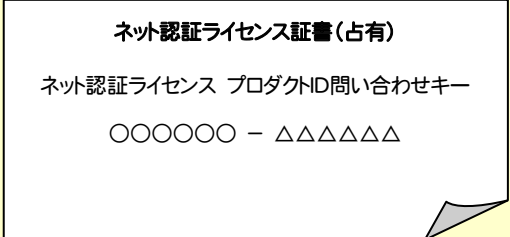
※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

以上でネット認証ライセンスの新規インストールは完了です。
続けて各プログラムをインストールしてください。

プログラムの初回起動時に、プロダクトIDの認証が必要です！！

弊社プログラムを使用するには、「ネット認証ライセンス」のプロダクトIDを認証する必要があります。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



2. 工事完成図CADの新規インストール

工事完成図CADを新規インストールします。

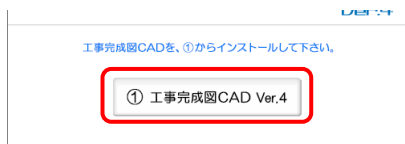
1. EX-TREND武蔵 シリーズの場合は、セットアップ画面を「個別インストール」に切り替え、[工事完成図CAD]を押します。

EX-TREND武蔵 シリーズ

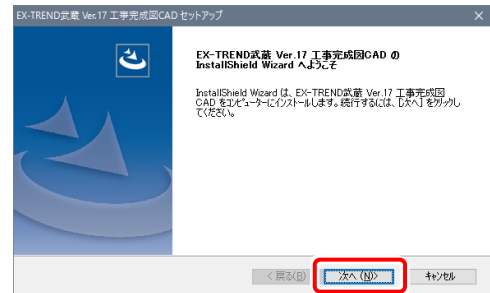


TREND-ONE、BLUETREND XA シリーズの場合は、セットアップ画面の[工事完成図CAD]を押します。

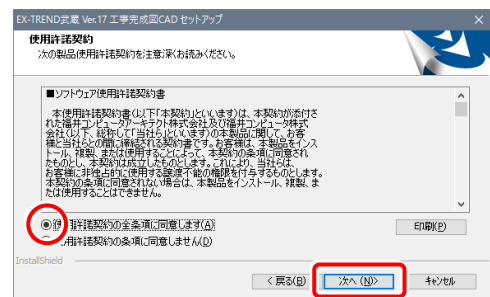
TREND-ONE シリーズ



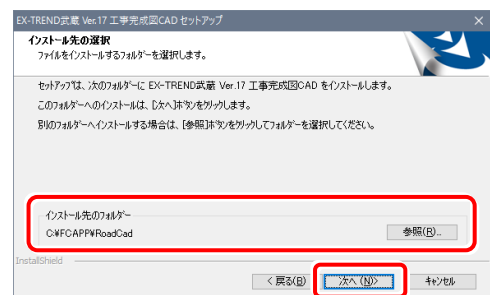
2. 表示される画面に従って、インストールを行います。
(本書では、EX-TREND武蔵 シリーズの画面で解説します。TREND-ONE、BLUETREND XA シリーズでも、同様の画面が表示されます。)



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンを押します。

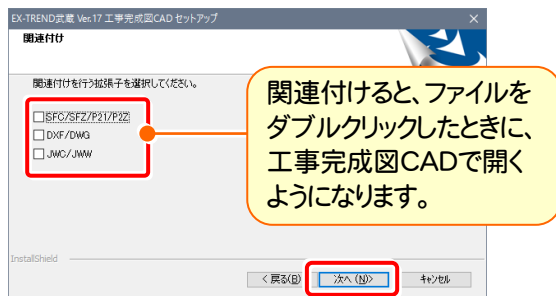


[インストール先のフォルダ]を指定して、[次へ]ボタンを押します。

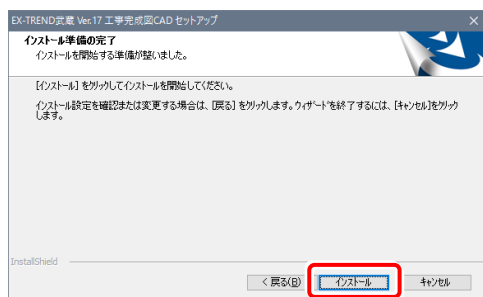


(次ページへ続く)

工事完成図CADに関連付ける拡張子を選択します。
(すべてチェックオフでも構いません)



[インストール]を押すと、ファイルのコピーが開始されます。



プログラムのインストールは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。
続いて次ページ「3. ネット認証ライセンスのPRODUCTID
認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」に進みます。

3. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録

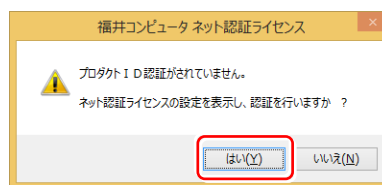
プログラムの起動時に、ネット認証ライセンスの「プロダクトIDの認証」と、「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示される場合があります。表示される画面にしたがって、プロダクトIDの認証とユーザー登録をおこなってください。

※ プロダクトIDの認証時およびFCコンシェルジュのユーザー登録時には、インターネットに接続された環境が必要です。

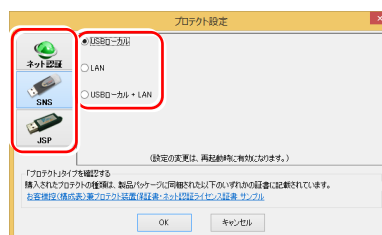
1. デスクトップの[工事完成図CAD]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。



[プロダクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロダクトを選択して[OK]を押します。

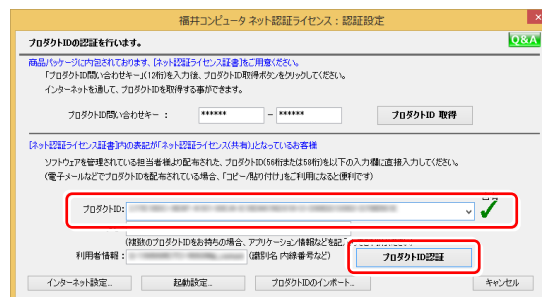
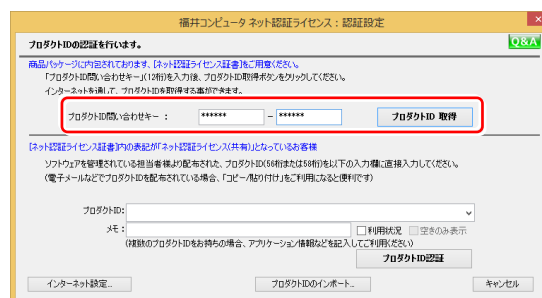
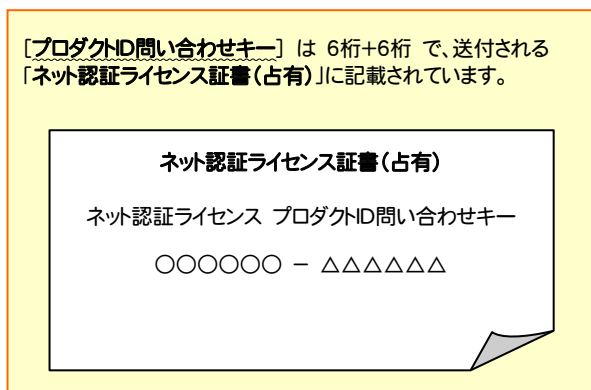


ネット認証ライセンス(占有)の場合、プロダクトID認証の手順

[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は6桁+6桁で、送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



(次ページへ続く)

「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。(右画面)

お客様のご利用環境に合わせて、「ライセンスの使用方法」と「コンピューターのインターネット環境」を選択してください。

選択した内容により、

- ライセンス認証の設定
 - ・ 製品起動時に自動認証
 - ・ コンピューター起動時に自動認証
 - ・ 手動で認証
- ライセンス認証解除の設定
 - ・ シャットダウン・ログオフ・再起動のときに解除
 - ・ スリープのときに解除

が最適に設定されます。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

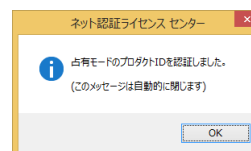
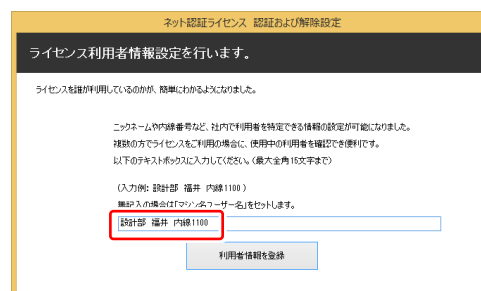
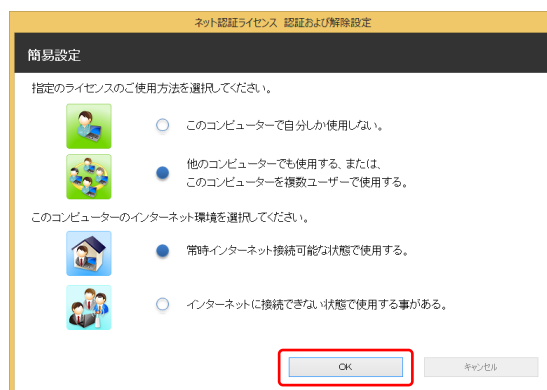
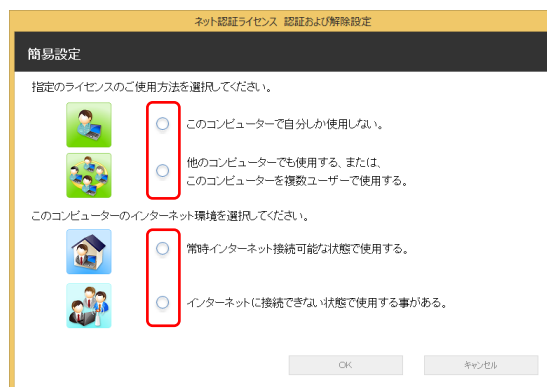
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。



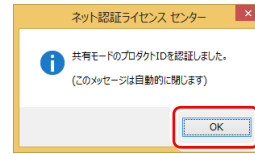
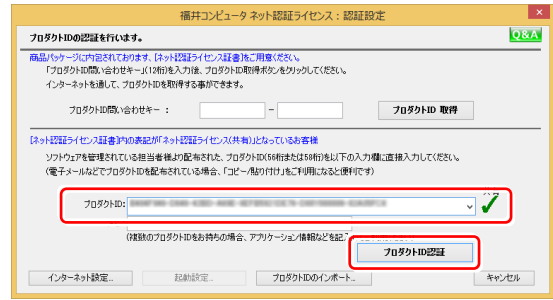
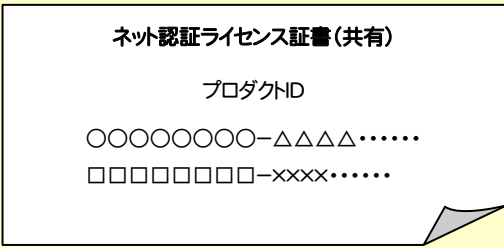
ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

[プロダクトID]に、ソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

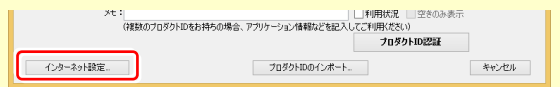
ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. プログラムが起動されます。

続けて **FCコンシェルジュのオンラインユーザ登録画面** が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が利用可能になります。

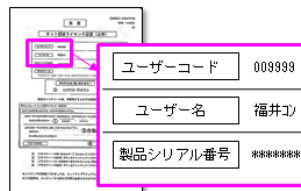
既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

FCコンシェルジュ では、インターネットを利用した各種サービスが提供されます。

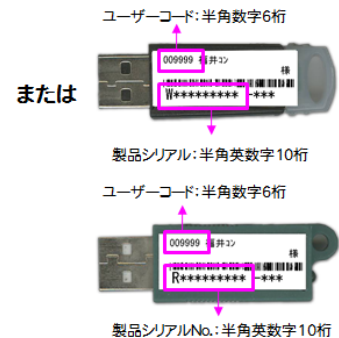
例えば製品情報や各地のイベント・セミナー情報、操作サポート情報がご覧になれます。またインストールされているプログラムのアップデートをおこなう事もできます。

※ FCコンシェルジュの登録に必要な「ユーザーコード」と「製品シリアル」については、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



●USBプロテクト表面のシール



ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録は完了です。続いて次ページ「4. 入力専用ライセンスのインストール」に進みます。

4. 入力専用ライセンスのインストール (EX-TREND 武蔵シリーズのみ)

入力専用ライセンスを使用するためには、プロテクト装置(ネット認証ライセンス、USBプロテクト)からライセンス情報を取得しておく必要があります。ライセンス情報の取得時には、コンピューターに取得先のUSBプロテクトを装着した状態(ネット認証の場合は、取得先のプロダクトIDを認証済みの状態)にしておいてください。

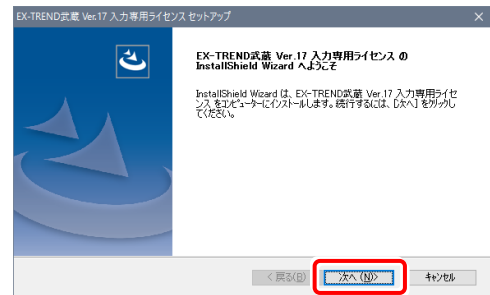
入力専用ライセンスを使用すると、ネット認証ライセンスを解除した状態、またはUSBプロテクトを外した状態でも、EX-TREND武蔵シリーズを使用することができます。ただしプログラムは、「入力専用」で動作します。「入力専用」では、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。

1. EX-TREND武蔵 シリーズで、セットアップ画面を「個別インストール」に切り替え、[入力専用ライセンス]を押します。

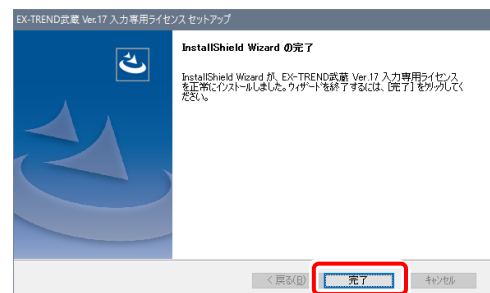
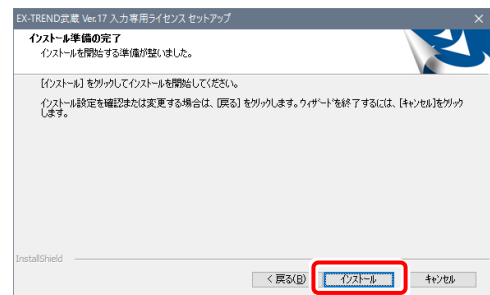
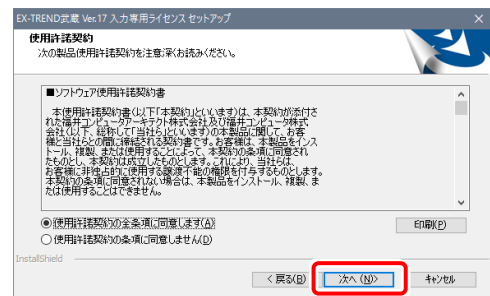
EX-TREND武蔵 シリーズ



2. 表示される画面に従って、インストールを行います。

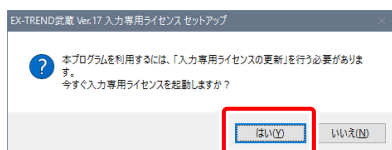


[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンを押します。

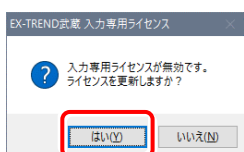


(次ページへ続く)

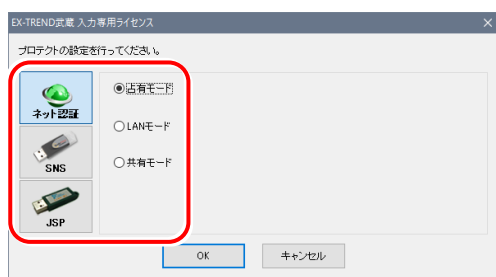
3. [はい] ボタンを押して、入力専用ライセンスを起動します。



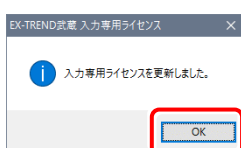
4. 確認のメッセージが表示されますので、[はい] ボタンを押します。



5. 使用されているプロテクト(ライセンスの取得先のプロテクト)を選択して、[OK]を押します。



LANモードのプロテクトの場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



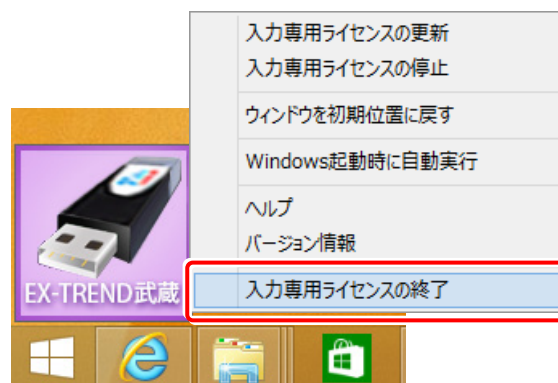
6. ライセンス情報が取得され、デスクトップ左下に、「入力専用ライセンス」が起動します。



7. 入力専用ライセンスは、使用しないときには終了させておきます。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



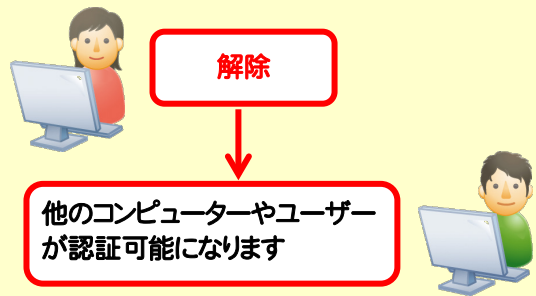
入力専用ライセンスの初期設定は完了です。
起動方法や機能などについては、P.20「入力専用ライセンス」を参照してください。

以上でセットアップは、すべて完了です

ネット認証ライセンス(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使用したい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

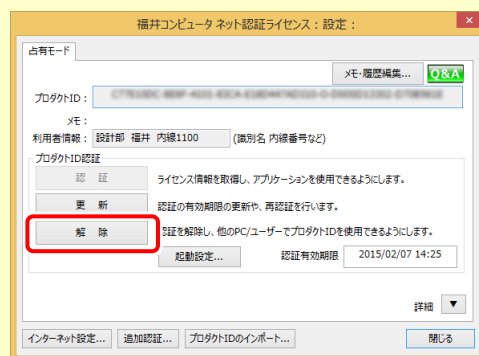
手動でネット認証ライセンスを解除したい場合は、以下の手順で解除してください。



FCコンシェルジュを使用している場合



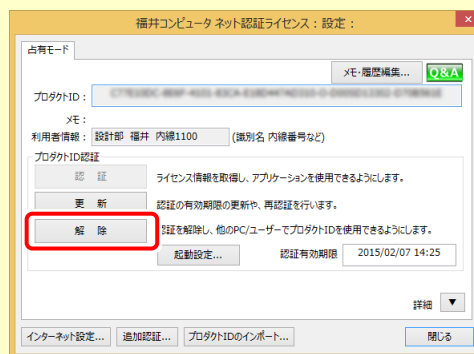
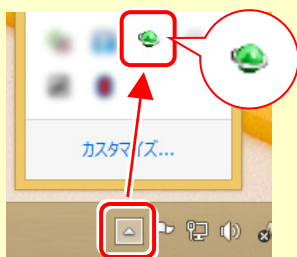
デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

FCコンシェルジュを使用していない場合



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。

ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

ネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更するには

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

FCコンシェルジュを使用している場合

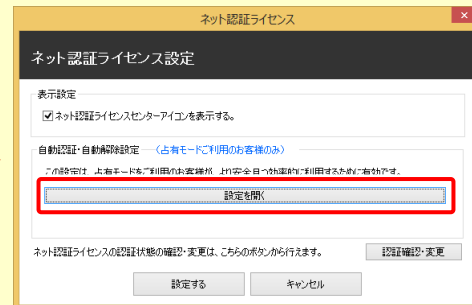


デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

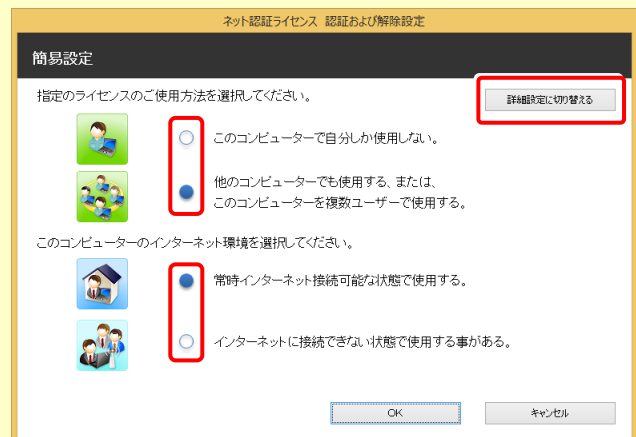


FCコンシェルジュが表示されます。
[ご案内]の[ネット認証ライセンス]をクリックします。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。
インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。



[設定を開く]を押します。

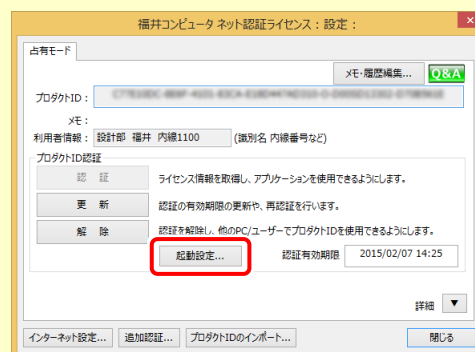


「使用方法」と「インターネット環境」を変更、または[詳細設定]で設定を変更します。変更後、[OK]ボタンを押してください。

FCコンシェルジュを使用していない場合



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



[起動設定]を押します。

修復(再)インストールの手順

コンピューターにセットアップされている工事完成図CADを修復(再)インストールする手順について解説します。

注意

データのバックアップをおこなってください

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

— 修復(再)インストールの流れ —

1. 工事完成図CADの再インストール



2. ネット認証ライセンスの更新



3. 入力専用ライセンスの更新

ネット認証ライセンス(占有)(共有) を使用されているお客様は、(15ページ)からの手順にしたがって、コンピューターの **工事完成図CAD** を再インストールしてください。

ネット認証ライセンス(LAN) を使用されるお客様は、(31ページ)「ネット認証(LAN)サーバーの更新」を参照して、サーバーのライセンス情報を更新してから、(15ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターの **工事完成図CAD** を再インストールしてください。

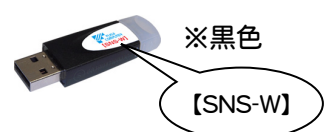
USBプロテクト【JSP-R】 を使用されるお客様は、(36ページ)「USBプロテクト【JSP-R】の書き換え」を参照して、USBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(15ページ)からの手順にしたがって、コンピューターの **工事完成図CAD** を再インストールしてください。



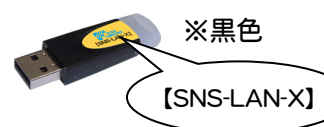
USBプロテクト【JSP-LAN-R】 を使用されるお客様は、(41ページ)「USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え」を参照して、サーバーのUSBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(15ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターの **工事完成図CAD** を再インストールしてください。



USBプロテクト【SNS-W】 を使用されるお客様は、(46ページ)「USBプロテクト【SNS-W】の書き換え」を参照して、USBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(15ページ)からの手順にしたがって、コンピューターの **工事完成図CAD** を再インストールしてください。



USBプロテクト【SNS-LAN-X】 を使用されるお客様は、(51ページ)「USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え」を参照して、サーバーのUSBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(17ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターの **工事完成図CAD** を再インストールしてください。



1. 工事完成図CADの再インストール

工事完成図CADを再インストールします。

1. EX-TREND武蔵 シリーズの場合は、セットアップ画面を「個別インストール」に切り替え、[工事完成図CAD]を押します。

EX-TREND武蔵 シリーズ

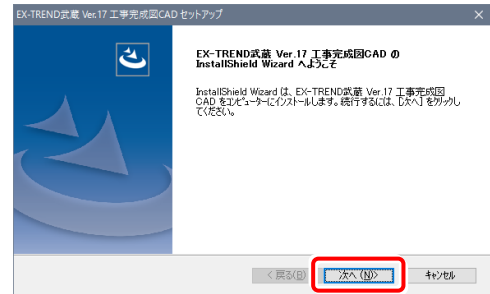


TREND-ONE、BLUETREND XA シリーズの場合は、セットアップ画面の[工事完成図CAD]を押します。

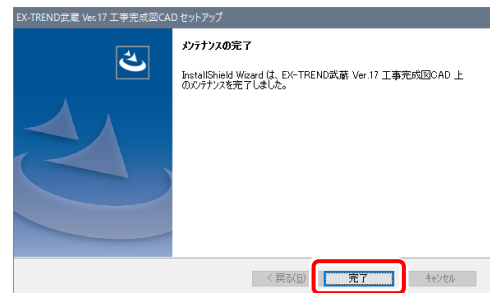
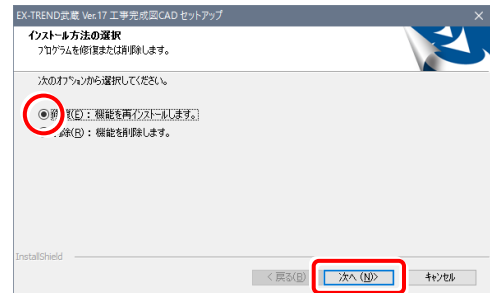
TREND-ONE シリーズ



2. 表示される画面に従って、インストールを行います。(本書では、EX-TREND武蔵 シリーズの画面で解説します。TREND-ONE、BLUETREND XA シリーズでも、同様の画面が表示されます。)

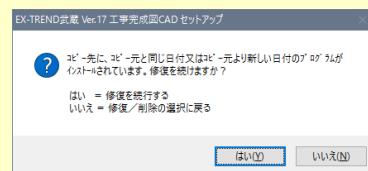


[修復]を選択して、[次へ]ボタンを押します。



プログラムの再インストールは完了です。

コピー先にコピーするプログラムよりも新しい(または同じ)プログラムが既に存在する場合には、メッセージ「コピー先に、コピー元と～」が表示されます。通常は、[いいえ]をクリックして処理を中止します。プログラムが正常に動かないなどで修復したい場合は、[はい]をクリックします。



2. ネット認証ライセンスの更新

プログラムの構成内容を変更したときには、ネット認証ライセンスのライセンス情報を更新する必要があります。

※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

※ ネット認証ライセンス(LAN)、または USBプロテクト【JSP-R】【JSP-LAN-R】【SNS-W】【SNS-LAN-X】を使用されている場合は、本操作は必要ありません。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

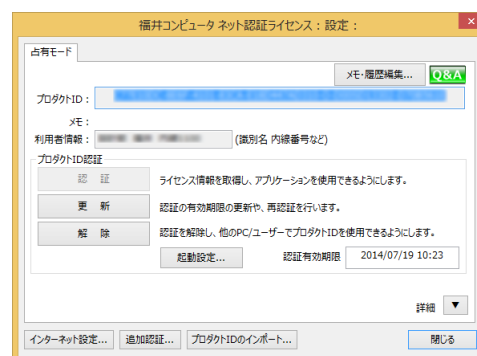


FCコンシェルジュを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。



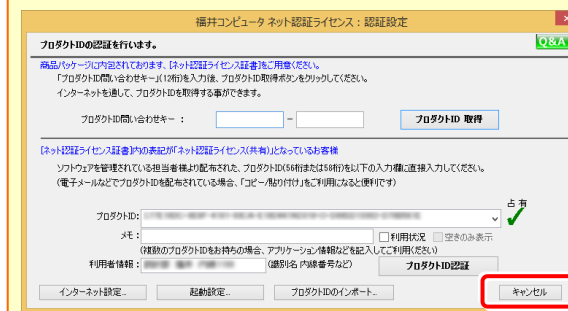
2. 「ネット認証ライセンス：設定」画面が表示されます。



認証設定画面が表示された場合は

プロダクトIDの認証画面(下画面)が表示された場合は、次回プログラム起動時にライセンスの更新がおこなわれるため、ここではライセンスの更新をおこなう必要はありません。

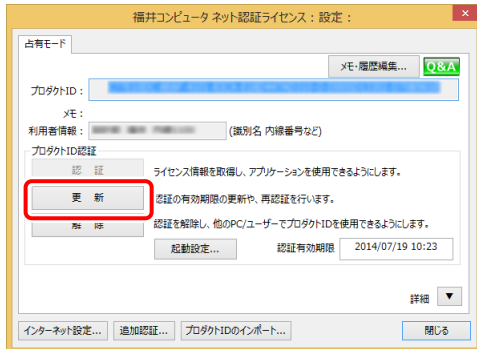
[キャンセル]を押して、画面を閉じてください。



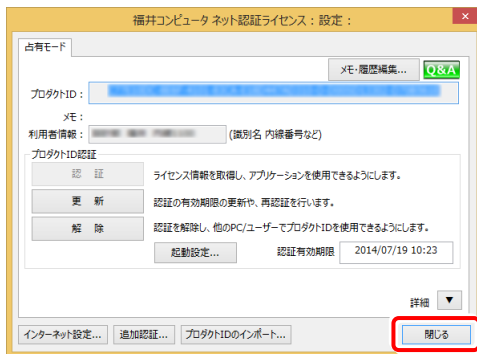
(次ページへ続く)

ネット認証ライセンス(占有)の場合

3. [更新]ボタンを押します。



更新を終えたら[閉じる]ボタンを押します。



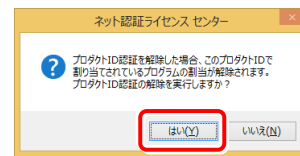
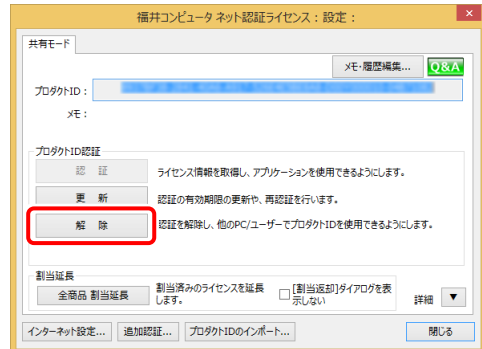
ネット認証ライセンスの更新は完了です。
 続いて次ページ「3. 入力専用ライセンスの更新」に進みます。

「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示された場合は
 [更新]ボタンを押した後に、下画面が表示された場合は、P.8 を参照して設定をおこなってください。

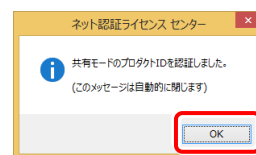
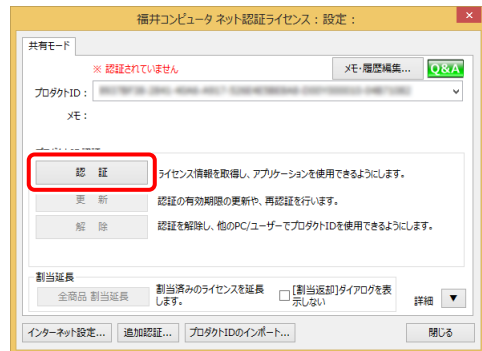


ネット認証ライセンス(共有)の場合

3. [解除]ボタンを押します。



プロダクトIDはそのまま変更しないで、[認証]ボタンを押します。



ネット認証ライセンスの更新は完了です。
 続いて次ページ「3. 入力専用ライセンスの更新」に進みます。

3. 入力専用ライセンスの更新 (EX-TREND 武蔵シリーズのみ)

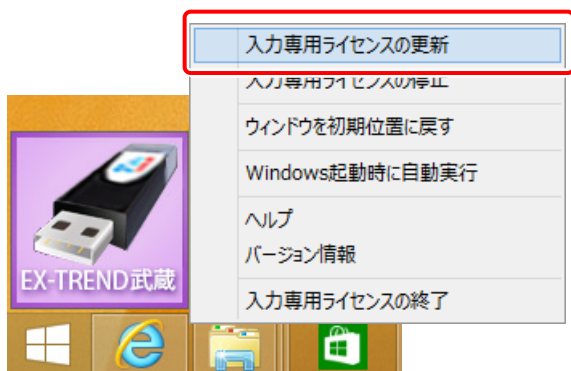
プログラムの構成内容を変更したときには、入力専用ライセンスのライセンス情報を更新する必要があります。ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを入力専用で使用することはできません。

ライセンス情報の取得時には、コンピューターに取得先のUSBプロテクトを装着した状態(ネット認証の場合は、取得先のプロダクトIDを認証済みの状態)にしておいてください。

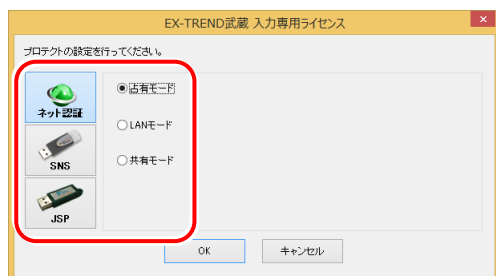
1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



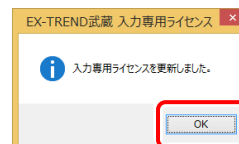
2. デスクトップ左下の[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの更新]コマンドを実行します。



3. [ターゲット]で、使用されているプロテクト装置を選択して、[OK]を押します。



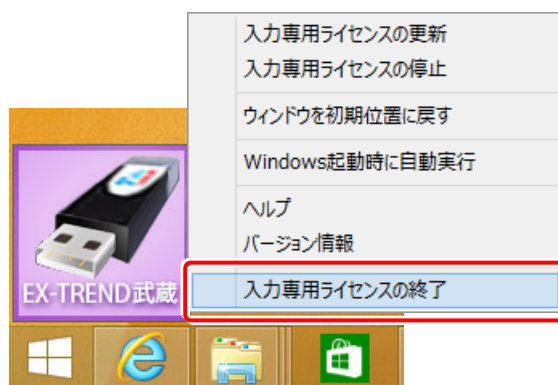
LANモードのプロテクトを選択した場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



4. ライセンス情報の更新を終えたら、入力専用ライセンスを終了します。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの更新は完了です。

以上で再セットアップは完了です

補 足

入力専用ライセンス（「EX-TREND武蔵シリーズ」のみ）	20
「入力専用ライセンス」の起動方法	20
「入力専用ライセンス」の機能	21
「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには	22
ネット認証ライセンス(占有)	24
ネット認証ライセンス(占有)のインストール	24
ネット認証ライセンス(共有)	26
ネット認証ライセンス(共有)のインストール	26
ネット認証ライセンス(LAN)	28
ネット認証ライセンス(LAN)サーバーのインストール	28
ネット認証ライセンス(LAN)サーバーの更新	31
USBプロテクト【JSP-R】	34
USBプロテクト【JSP-R】のインストール	34
USBプロテクト【JSP-R】の書き換え	36
USBプロテクト【JSP-LAN-R】	38
USBプロテクト【JSP-LAN-R】のインストール	38
USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え	41
USBプロテクト【SNS-W】	44
USBプロテクト【SNS-W】の新規インストール	44
USBプロテクト【SNS-W】の書き換え	46
USBプロテクト【SNS-LAN-X】	48
USBプロテクト【SNS-LAN-X】の新規インストール	48
USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え	51

入力専用ライセンス (EX-TREND 武蔵シリーズのみ)

ネット認証を解除した状態、またはUSBプロテクトを装着しない状態でEX-TREND武蔵を使うためには、「入力専用ライセンス」を使用します。

ただし「入力専用ライセンス」でプログラムが動作している時には、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。

ここでは「入力専用ライセンス」の起動方法(本ページ)、「入力専用ライセンス」の機能(P.21)、「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには(P.22)を解説します。



入力専用ライセンス
(起動すると画面左下に表示)

「入力専用ライセンス」の起動方法

- ・ ネット認証ライセンス(占有)(共有)をお使いのお客様は、プロダクトIDを解除しておいてください。
- ・ USBプロテクト【SNS-W】【JSP-R】をお使いのお客様は、USBプロテクトをコンピューターから外しておいてください。
- ・ プログラムの起動前に、以下の手順で「入力専用ライセンス」を起動してください。

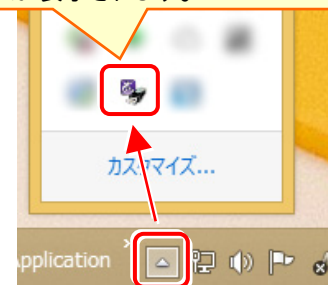
デスクトップに作成された
[入力専用ライセンス]アイコン
をダブルクリックして起動します。



起動中は、画面左下(※)に
[入力専用ライセンス]アイコン
が表示されます。



右下の通知領域にも
[入力専用ライセンス]アイコン
が表示されます。

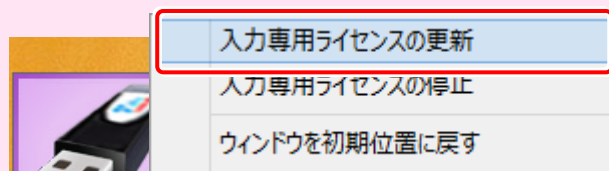


※ [入力専用ライセンス]アイコンは、ドラッグで任意の位置に移動できます。次回起動時には、移動した位置に表示されます。

注意

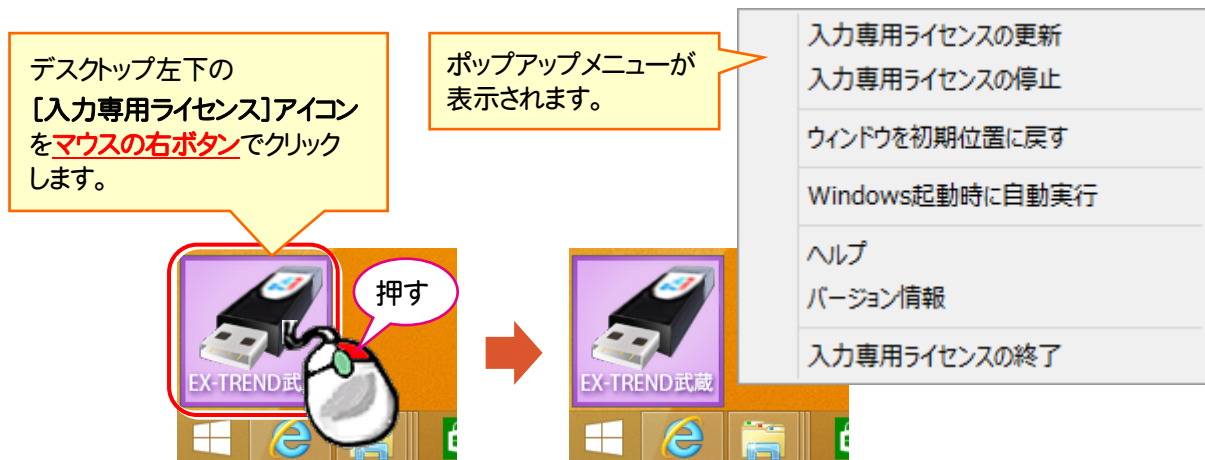
入力専用ライセンス 注意事項

- 「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」と、「入力専用ライセンス」の同時利用は出来ません。「入力専用ライセンス」が起動されている場合は、「入力専用ライセンス」が優先されます。
- バージョンアップやプログラム追加などで、ネット認証ライセンスの更新やUSBプロテクトの書き換えをおこなった場合は、「入力専用ライセンスの更新」が必要です。
「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューから、「入力専用ライセンスの更新」を実行してください。(右図)
- 「入力専用ライセンス」は、Windowsのログインアカウント毎に設定が必要です。
- 「入力専用ライセンス」で動作している場合、プログラムの[ヘルプ]－[バージョン情報]コマンドで表示される「ユーザーID」の末尾に、(入力専用ライセンス) と表示されます。
- 「Windowsの起動時に自動実行」をオンにすることで、次回ログイン時から自動で「入力専用ライセンス」が起動します。



「入力専用ライセンス」の機能

「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューのコマンドについて解説します。

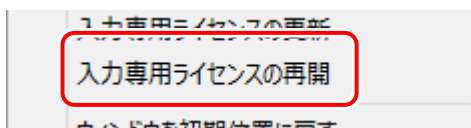


【入力専用ライセンスの更新】

「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」から、「入力専用ライセンス」のライセンス情報を更新します。
バージョンアップやオプションを追加した場合に、実行してください。

【入力専用ライセンスの停止】

「入力専用ライセンス」を一時的に停止します。
再開は、【入力専用ライセンスの再開】で行います。

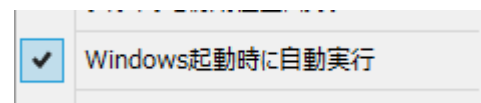


【ウインドウを初期位置に戻す】

【入力専用ライセンス】アイコンを初期位置（デスクトップ左下）に戻します。

【Windows起動時に自動実行】

「入力専用ライセンス」をWindowsの起動時に自動実行します。
オンの場合、コマンドの前にチェックマークが表示されます。



オフにするには、もう一度本コマンドを実行します。

【ヘルプ】

入力専用ライセンスの解説書 (PDF) を開きます。

【バージョン情報】

「入力専用ライセンス」のバージョン情報を表示します。

【入力専用ライセンスの終了】

「入力専用ライセンス」を終了します。

「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには

「入力専用ライセンス」を使用している場合、成果物の印刷や出力は以下の手順でおこないます。

USBプロテクト (SNS-W) の場合

※ プログラムの再起動が不要なのは、USBプロテクト (SNS-W) のみです。

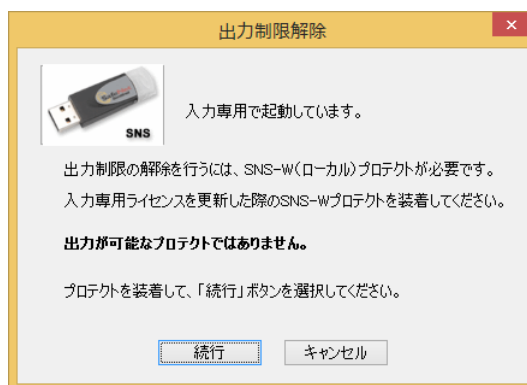
USBプロテクト (SNS-W) の場合は、出力コマンドの実行時 (施工計画書作成支援は本体起動時) に USBプロテクトをコンピューターに装着することで、成果物の印刷や出力がおこなえます。プログラムを再起動する必要はありません。

1. 「入力専用」の状態では、帳票の作成や印刷、データ書き込みなど出力をおこなうコマンドを実行すると、右の画面が表示されます。

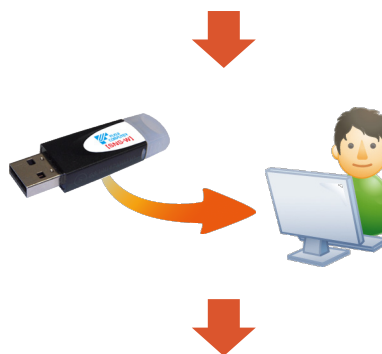
● CO2排出量計算

の場合は、USBプロテクト (SNS-W) を使用中でも、この方法で成果物の印刷や出力をおこなうことはできません。

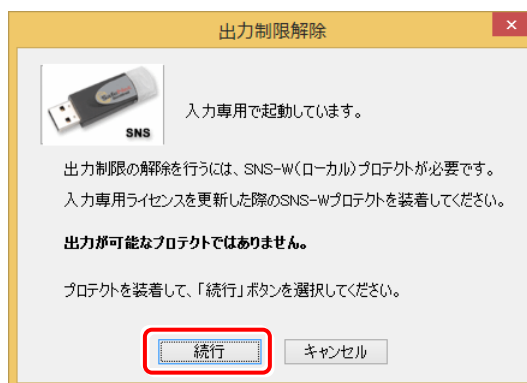
次ページのUSBプロテクト (JSP-R) と同様な手順で、成果物の印刷や出力をおこなってください。
(入力専用ライセンスの終了とプログラムの再起動が必要)



2. USBプロテクト (SNS-W) をコンピューターに装着します。



3. 「続行」を押します。成果物の印刷や出力が実行されます。



成果物の印刷や出力が実行されます。

ネット認証ライセンス（占有）(LAN)（共有）の場合

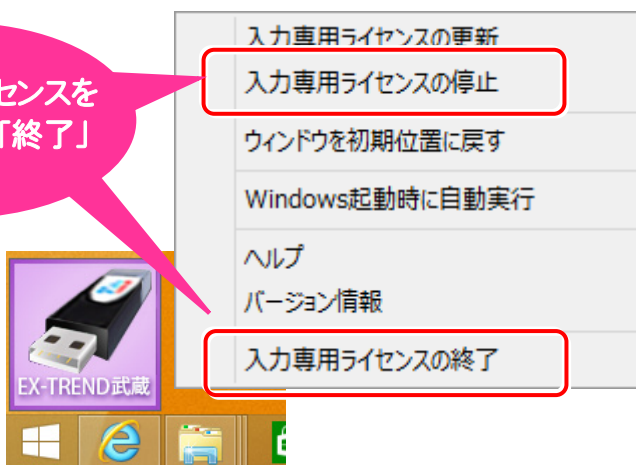
USBプロテクト（SNS-LAN）の場合

USBプロテクト（JSP-R）(JSP-LAN-R)の場合

上記プロテクトの場合は、一旦プログラムを終了して入力専用ライセンスを「停止」または「終了」します。その後、ネット認証ライセンスの認証やUSBプロテクトの装着をおこなってから、プログラムを再起動して成果物の印刷や出力をおこないます。

まず、データを保存して、プログラムを終了します。

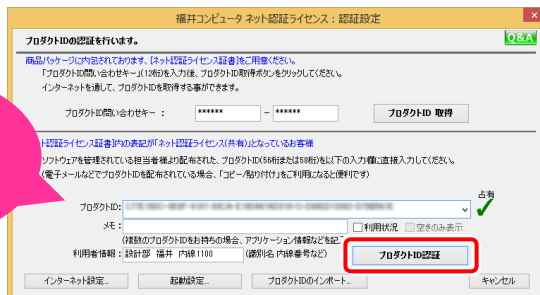
入力専用ライセンスを「停止」または「終了」します



プログラムを再起動します。

入力専用ライセンスの認証設定画面が表示された場合は、プロダクトIDの認証をおこないます。

プロダクトIDを認証します



データを開き、成果物の印刷や出力をおこないます。

「USBプロテクト」をお使いの方は



【SNS-W】【JSP-R】の場合は、USBプロテクトを装着してからプログラムを再起動してください。

【SNS-LAN-X】【JSP-LAN-R】の場合は、そのままプログラムを再起動してください。

ネット認証ライセンス(占有)



(占有)

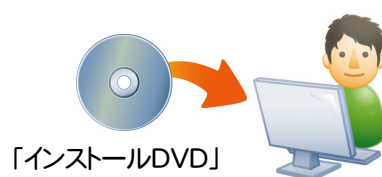
ネット認証ライセンス(占有)のインストール

「ネット認証ライセンス(占有)」を初めて使用される方は、「ネット認証ライセンス(占有)」をインストールします。

※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ネット認証ライセンスのインストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス]を押します。
(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ

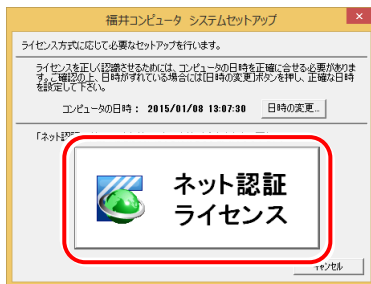


TREND-ONE シリーズ

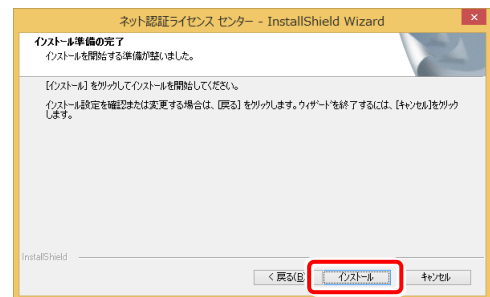
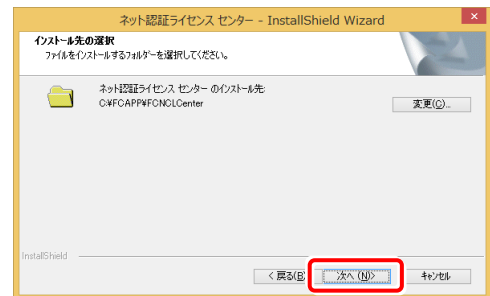
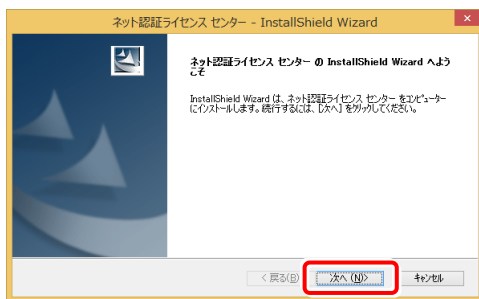


(次ページへ続きます)

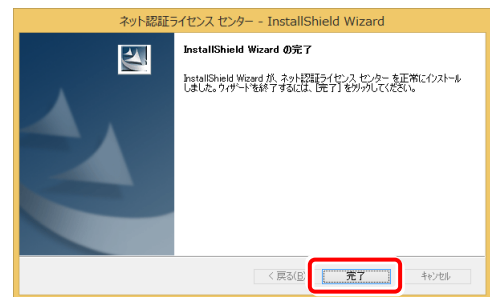
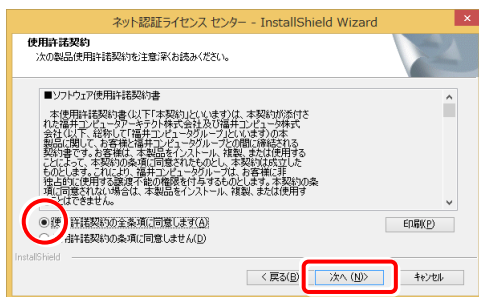
3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

以上でプロテクトのインストールは完了です。
 プロダクトIDの認証については、P.7「3. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」を参照してください。

ネット認証ライセンス(共有)



(共有)

ネット認証ライセンス(共有)のインストール

「ネット認証ライセンス(共有)」を初めて使用される方は、「ネット認証ライセンス(共有)」をインストールします。

※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

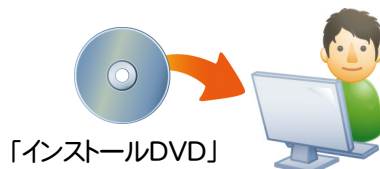
プロダクトID

〇〇〇〇〇〇〇〇-△△△△.....

□□□□□□□□-xxxx.....

Step1 | ネット認証ライセンスのインストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス]を押します。(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ

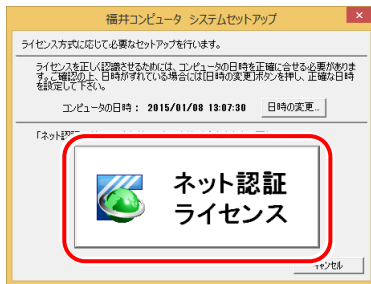


TREND-ONE シリーズ

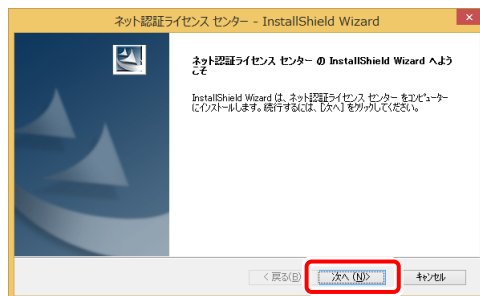


(次ページへ続きます)

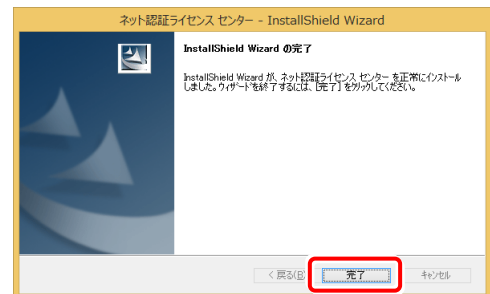
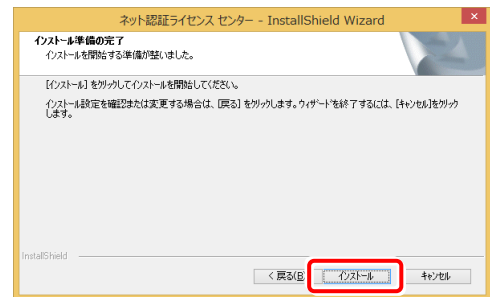
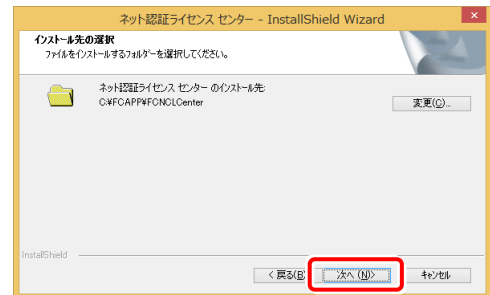
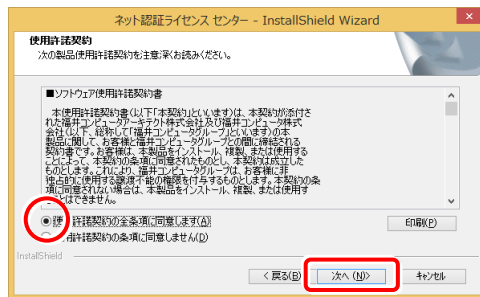
3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

以上でプロテクトのインストールは完了です。
 プロダクトIDの認証については、P.7「3. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCコンシェルジュのユーザー登録」を参照してください。

ネット認証ライセンス(LAN)



(LAN)

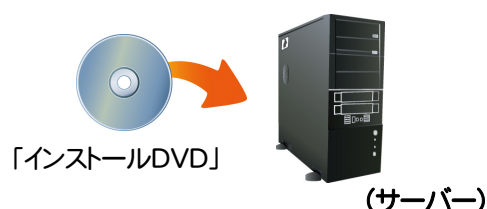
ネット認証ライセンス(LAN)サーバーのインストール

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される方は、使用するサーバーに「ネット認証LANサーバー」をインストールした後、プロダクトIDの認証をおこないます。

- ※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。
- ※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。
(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ

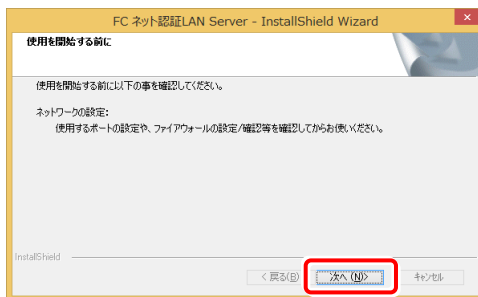
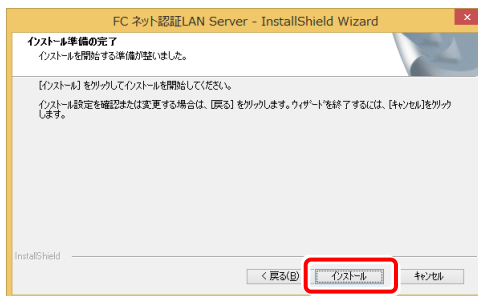
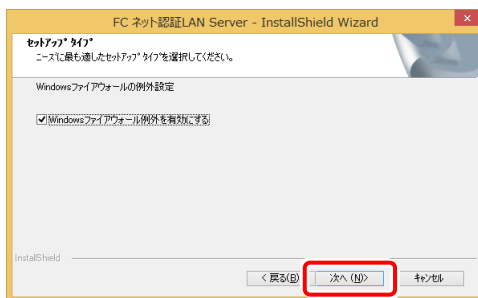
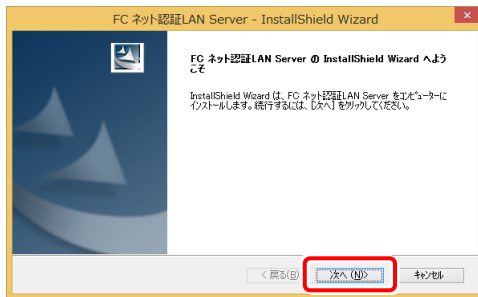


TREND-ONE シリーズ

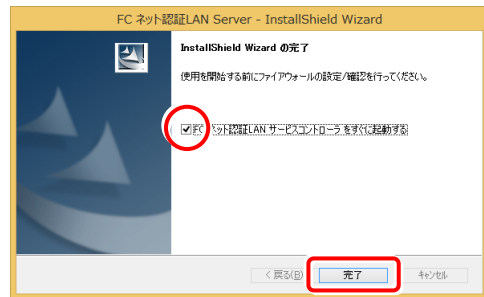


(次ページへ続きます)

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



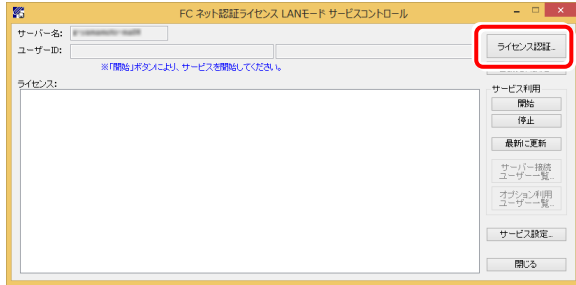
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

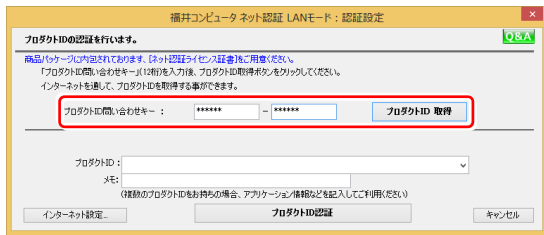
Step2 | プロダクトIDの認証(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、Windowsの[スタート]メニューから、[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントロール]で起動してください。

2. [認証設定]画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書(LAN)」に記載されています。

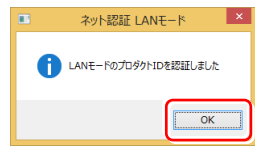
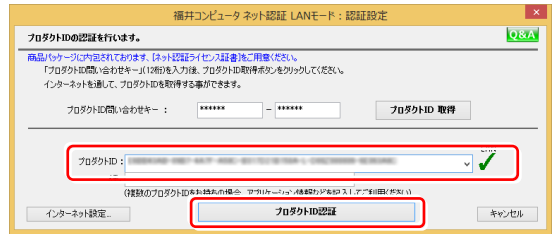
ネット認証ライセンス証書(LAN)

ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

○○○○○○ - △△△△△△

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証]を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)のインストールは完了です。

続けてクライアントで、各プログラムのセットアップをおこなってください。

ネット認証ライセンス(LAN)サーバーの更新

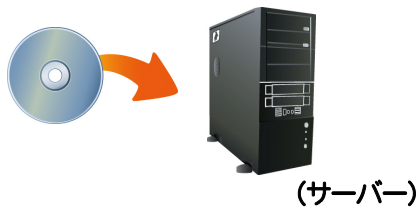
・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、ネット認証LANサーバー(ライセンス管理プログラム)の更新と、ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス情報の更新が必要です。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。 (画面のデザインは、商品によって異なります。)

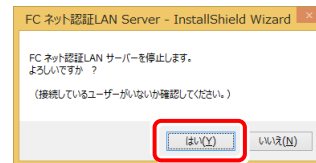
EX-TREND武蔵 シリーズ



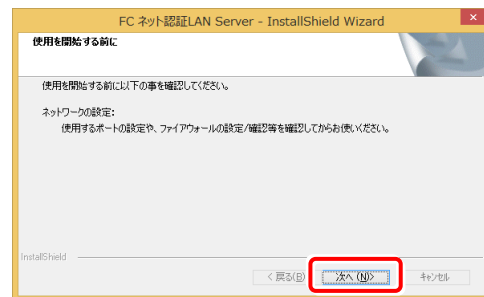
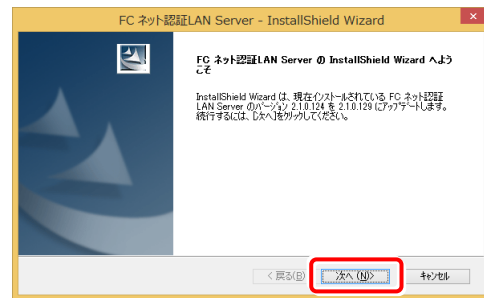
TREND-ONE シリーズ



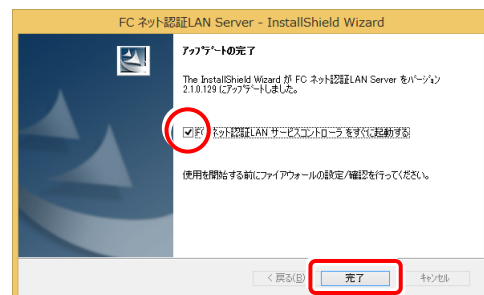
3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。 [修復]と[削除]の選択画面が表示された場合は、[修復]を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



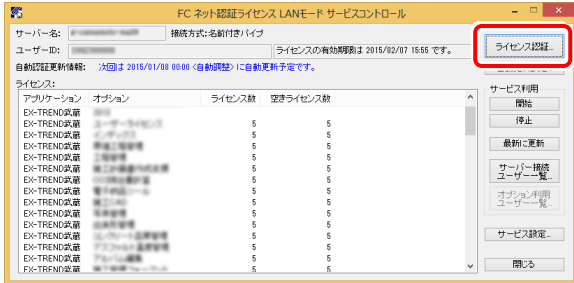
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

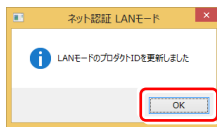
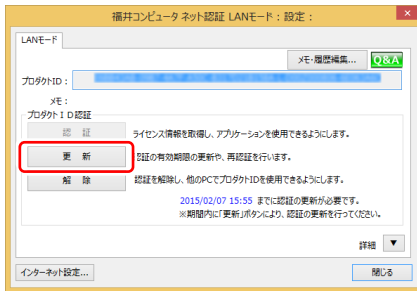
Step2 | ライセンス情報の更新(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。

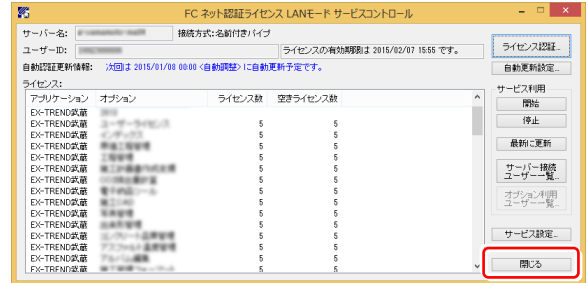


※ 上記画面が表示されていない場合は、Windowsの[スタート]メニューから、[FC ネット認証LAN Server]—[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]で起動してください。

2. [更新]を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)の更新は完了です。

続けてクライアントで、各プログラムの更新をおこなってください。

－ メモ －

USB プロテクト【JSP-R】



※グリーン色

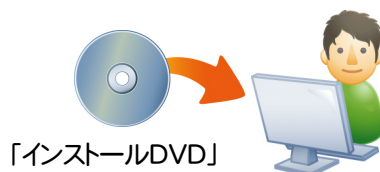
【JSP-R】

USBプロテクト【JSP-R】のインストール

USBプロテクト【JSP-R】を使用される方は、USBプロテクト【JSP-R】のプロテクトドライバーをインストールします。

Step1 | システムセットアップ

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、
まだコンピューターに
装着しないでください。



2. セットアップ画面の[USBプロテクトをお使いの方はこちらへ]の文字をクリックします。
(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ



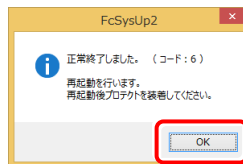
TREND-ONE シリーズ



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続きます)

3. [JSP-R] ボタンを押します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、一旦再起動してから次の手順に進みます。

4. コンピューターに、USBプロテクトを装着します。



自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。

以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。

USBプロテクト【JSP-R】の書き換え

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

「プロテクト書換CD」が送られてきた場合は、USBプロテクト【JSP-R】のライセンス情報を書き換える必要があります。
(プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時)
USBプロテクト【JSP-R】をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「JSP-Rタイプ」を、クリックします。

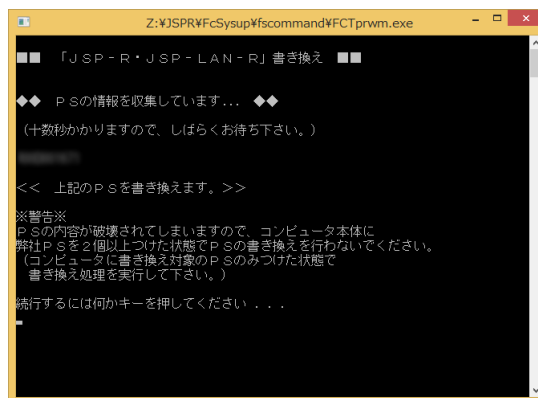


※ 表示される画面は異なる場合があります。

4. [プロテクトの書き換え]ボタンを押します。



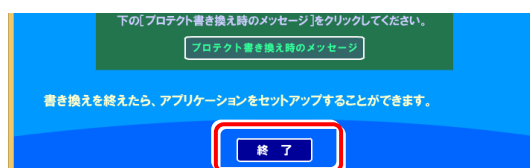
5. 画面のメッセージに従って操作します。



正常終了したら、何かキーを押して[プロテクトの書き換え]画面に戻ります。

※ 複数の「USBプロテクト」をお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。
必ず1つずつ書き換えてください。

6. [終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

－ メモ －

USB プロテクト 【JSP-LAN-R】



※オレンジ色

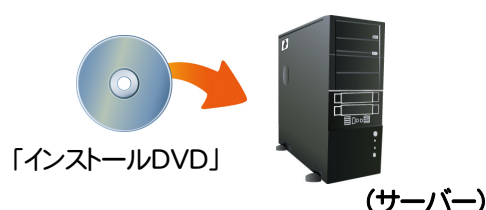
【JSP-LAN-R】

USBプロテクト【JSP-LAN-R】のインストール

USBプロテクト【JSP-LAN-R】を使用される方は、USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、プロテクトドライバーと「JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)」をインストールします。

Step1 | システムセットアップ

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。



2. セットアップ画面の[USBプロテクトをお使いの方はこちらへ]の文字をクリックします。(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ



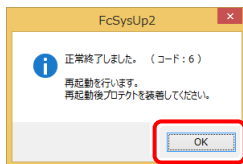
TREND-ONE シリーズ



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

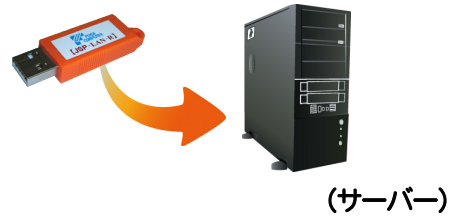
(次ページへ続きます)

3. [JSP-LAN-R] ボタンを押します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、一旦再起動してから次の手順に進みます。

4. サーバーに、USBプロテクトを装着します。



自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「JSP-LAN-Rサーバー」 (ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーで、[JSP-LAN-Rサーバー]ボタンを押します。
(画面のデザインは、商品によって異なります。)

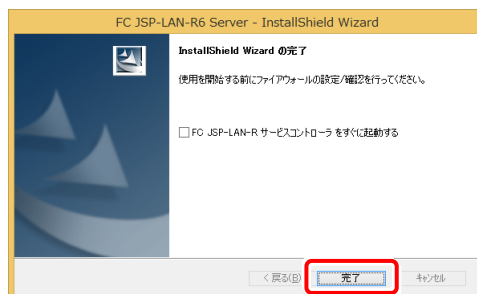
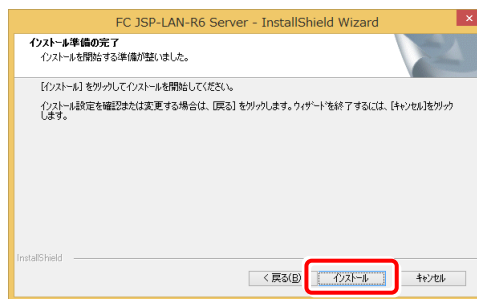
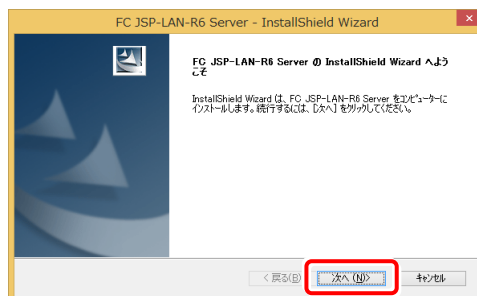
EX-TREND武蔵 シリーズ



TREND-ONE シリーズ



2. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーをインストールします。



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス情報の書き換えと、JSP-LAN-Rサーバー（ライセンス管理プログラム）の更新が必要です。

USBプロテクト【JSP-LAN-R】をお使いの方は、以下の手順で書き換えと更新をおこなってください。

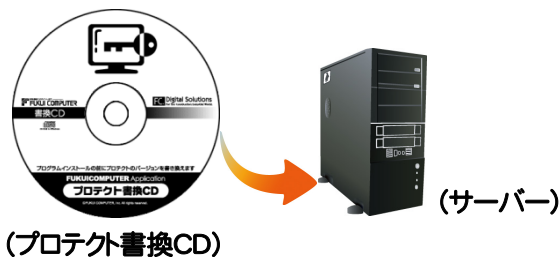
Step1 | プロテクトの書き換え

1. サーバーに書き換えを行う USBプロテクト【JSP-LAN-R】を、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、サーバーにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「JSP-LAN-Rタイプ」をクリックします。

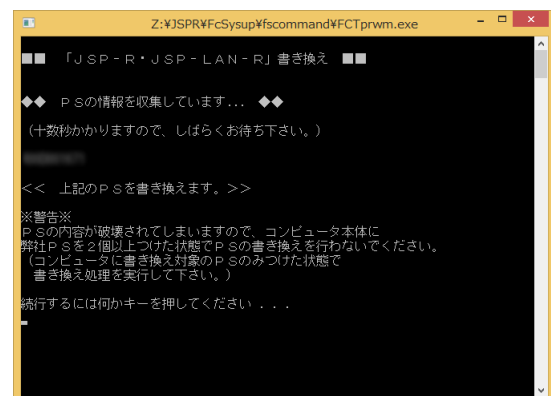


※ 表示される画面は異なる場合があります。

4. [プロテクトの書き換え]ボタンを押します。



5. 画面のメッセージに従って操作します。

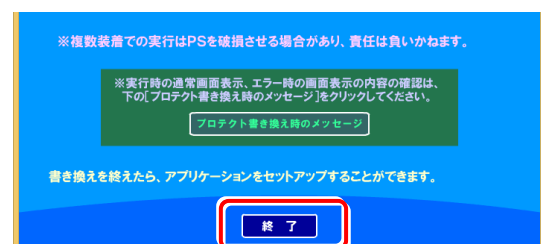


正常終了したら、何かキーを押して[プロテクトの書き換え]画面に戻ります。

※ 複数の「USBプロテクト」をお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。

必ず1つずつ書き換えてください。

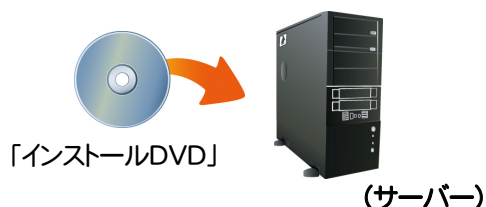
6. [終了]ボタンを押して画面を閉じます。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「JSP-LAN-Rサーバー」
(ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. [JSP-LAN-Rサーバー] ボタンを押します。
(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ

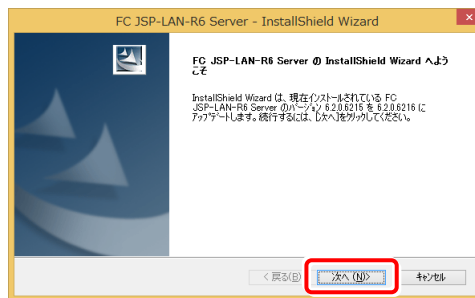


TREND-ONE シリーズ

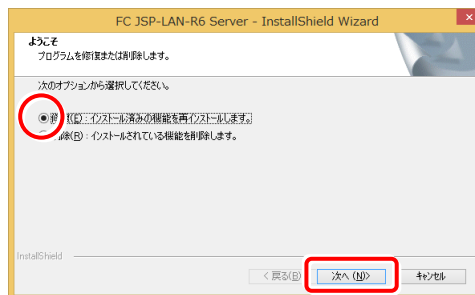


3. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーをインストールします。

バージョンアップ画面が表示された場合は、[次へ]を押して、インストールを進めてください。



[修復]と[削除]を選択する画面が表示された場合は、[修復]を選択して、インストールを進めてください。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

－メモ－

USB プロテクト【SNS-W】



※黒色

【SNS-W】

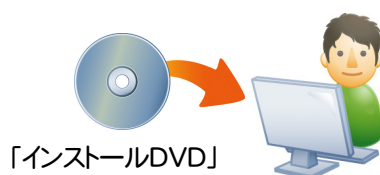
USBプロテクト【SNS-W】のインストール

USBプロテクト【SNS-W】を初めて使用される方は、USBプロテクト【SNS-W】のプロテクトドライバをインストールします。

※ コンピューターが再起動されます。起動中のアプリケーションは終了しておいてください。

Step1 | システムセットアップ

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、
まだコンピューターに
装着しないでください。



2. セットアップ画面の[USBプロテクトをお使いの方はこちらへ]の文字をクリックします。
(画面のデザインは、商品によって異なります。)

EX-TREND武蔵 シリーズ



TREND-ONE シリーズ



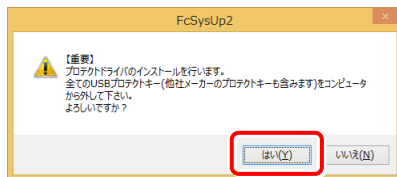
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続きます)

4. [SNS-W] ボタンを押します。



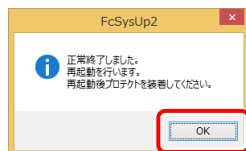
USBプロテクトがコンピューターから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



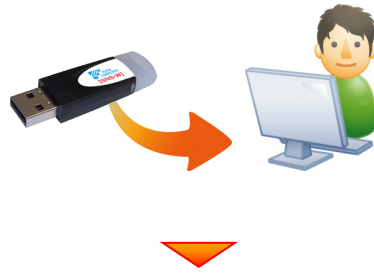
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してコンピューターを再起動します。

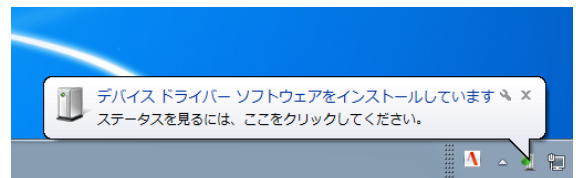


5. コンピューターの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。

USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、送付された「プロテクト書換CD」を使用して、USBプロテクト【SNS-W】のライセンス情報を書き換える必要があります。

USBプロテクト【SNS-W】をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

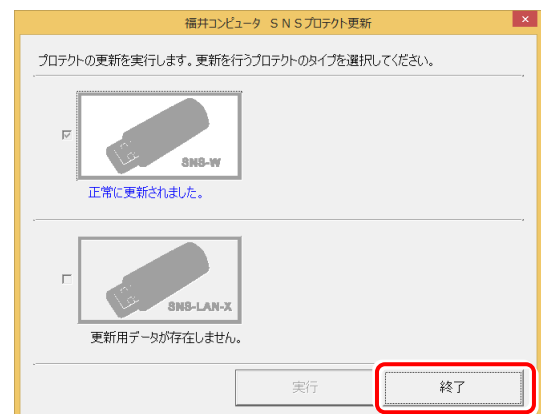
※ 上記画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. [SNS-W]にチェックが入っている事を確認して、[実行] ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら[終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

－ メモ －

USBプロテクト【SNS-LAN-X】



※黒色

【SNS-LAN-X】

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール

USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用される方は、USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着するサーバーに、プロテクトドライバと「SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）」をインストールします。

※ サーバーが再起動されます。起動中のアプリケーションは終了しておいてください。

Step1 | システムセットアップ

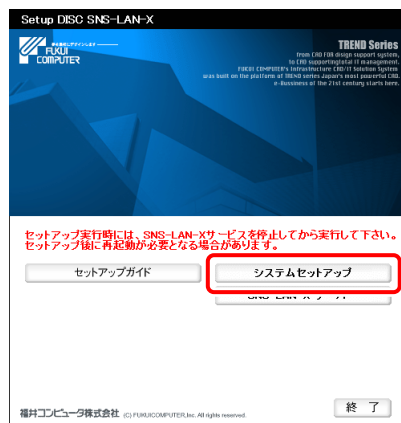
1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着するサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



SNS-LAN-X用ライセンスCD

(サーバー)

2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。



「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップや、プログラムの追加購入で、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続きます)

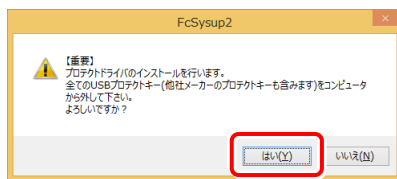
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X]ボタンを押します。



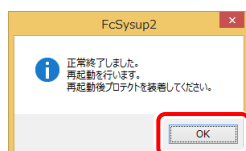
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい]ボタンを押します。



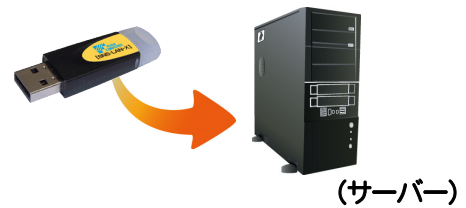
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK]ボタンを押してサーバーを再起動します。

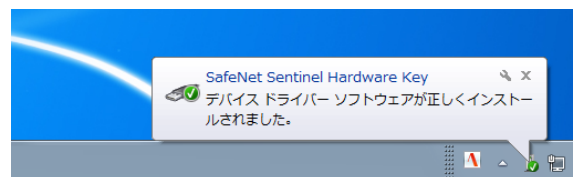
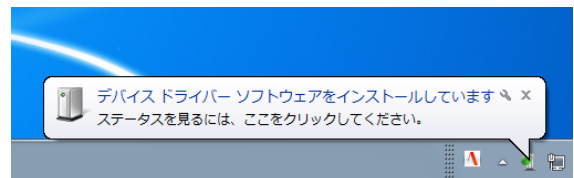


4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

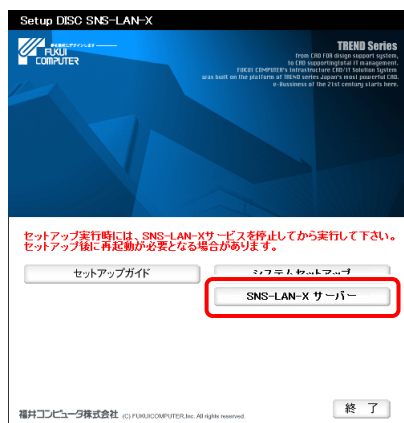
(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



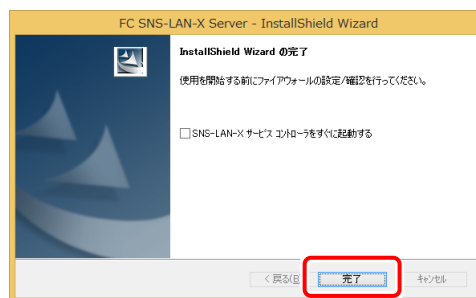
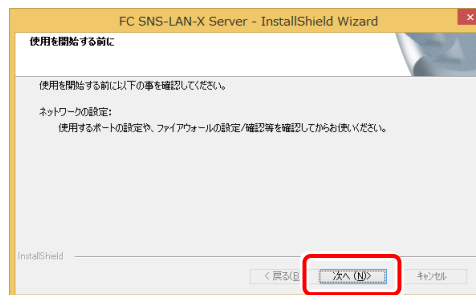
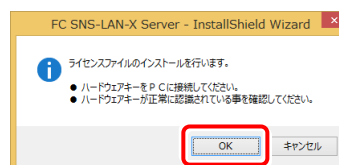
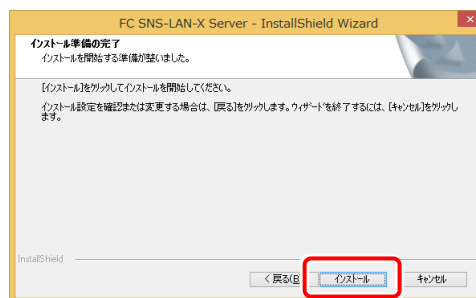
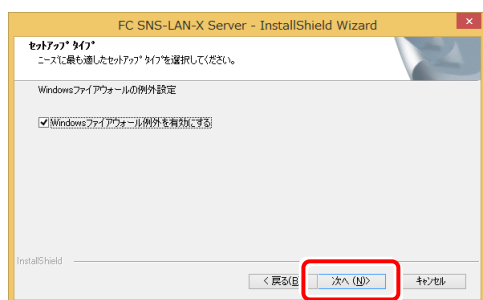
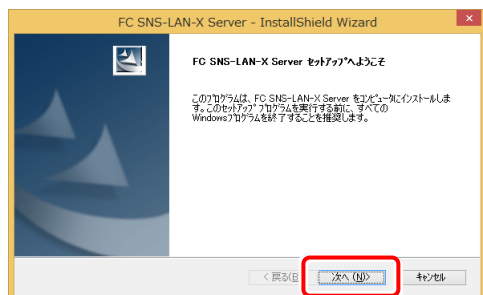
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、[SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）を更新する必要があります。

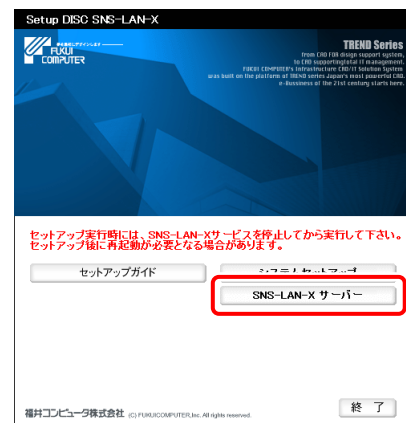
USBプロテクト【SNS-LAN-X】をお使いの方は、以下の手順で更新してください。

Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

－ メモ －

Q & A

セットアップ Q&A	54
Q.1 データのバックアップ先にCDやDVDを指定したのですが、 バックアップできません。	54
Q.2 「Antenna House PDF Driver」とはなんですか?	54
Q.3 「積算連携ツール」とはなんですか?	54
プロテクト Q&A	55
Q.1 ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか?	55
Q.2 プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が 表示されて起動できません。	56
Q.3 ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について 教えてください。	58
Q.4 USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス管理について 教えてください。	59
Q.5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について 教えてください。	60

セットアップ Q&A

Q.1

データのバックアップ先にCDやDVDを指定したのですが、バックアップできません。

A.1

CDやDVDに直接バックアップを取ることは出来ません。

一旦ハードディスク上にバックアップした後、バックアップデータをお手持ちのCD・DVD書き込みソフトを使用して、CDやDVDに書き込んでください。

Q.2

「Antenna House PDF Driver」とはなんですか？

A.2

「Antenna House PDF Driver」とは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。

普通のプリンタと同様にアプリケーションの[印刷]コマンドから出力することにより、PDFファイルを作成することができます。

EX-TREND武蔵 を一括インストールした場合は、自動的にインストールされます。

Antenna House PDF Driver
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.



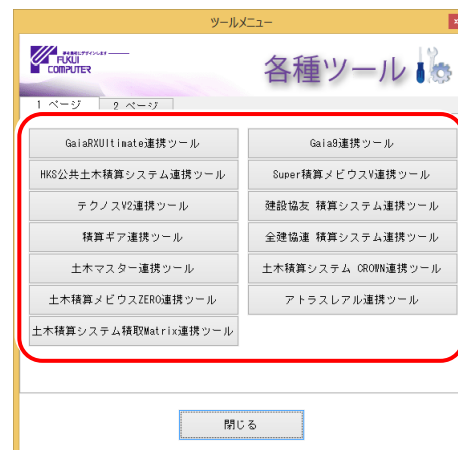
Q.3

「積算連携ツール」とはなんですか？

A.3

「積算連携ツール」とは、各社の積算プログラムからEX-TREND武蔵へデータを連携できるように、環境をセットアップするツールです。

ボタンをクリックすると、対応している積算プログラムが一覧表示されますので、お使いの積算プログラムのボタンを押して、セットアップしてください。



対応している積算プログラムは、追加・変更される場合があります。

プロテクト Q&A

Q.1

ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか？

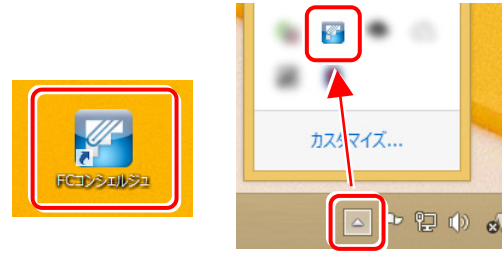
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

開き方

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



2. FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

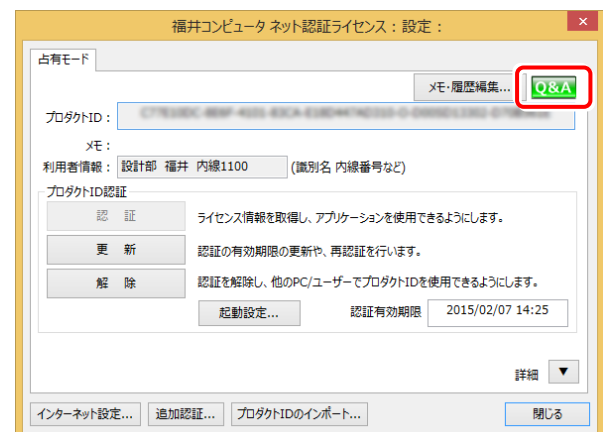


3. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。

FCコンシェルジュを登録されていない場合、またはFCコンシェルジュがインストールされていない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



Q.2

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。

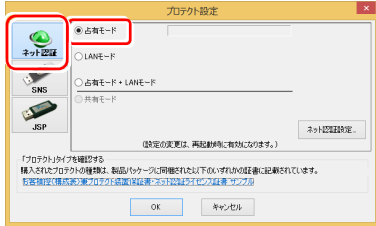
A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。

(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

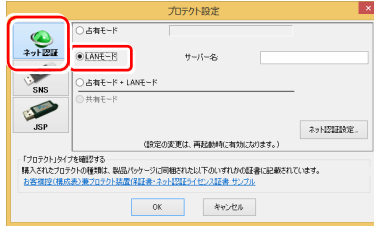
【ネット認証ライセンス(占有)】を使用

[ネット認証] - [占有モード]を選択



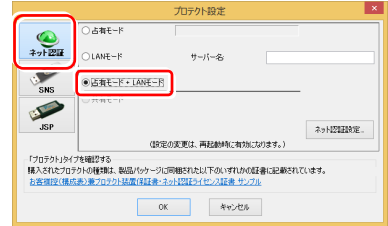
【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用

[ネット認証] - [LANモード]を選択



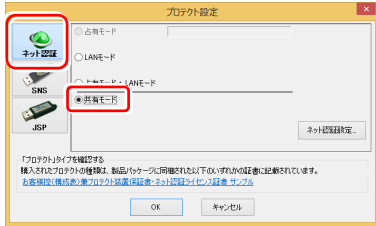
【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用

[ネット認証] - [占有モード+LANモード]を選択



【ネット認証ライセンス(共有)】を使用

[ネット認証] - [共有モード]を選択

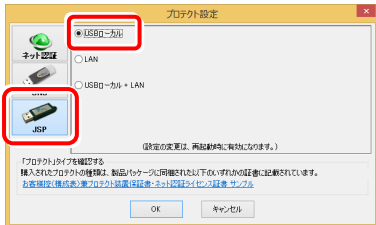


【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピューター名を入力してください。

【JSP-R】を使用



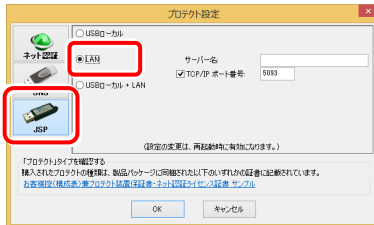
[JSP] - [USBローカル]を選択



【JSP-LAN-R】を使用



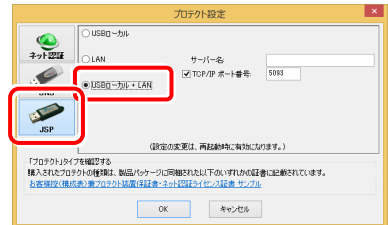
[JSP] - [LAN]を選択



【JSP-R】と【JSP-LAN-R】を併用



[JSP] - [USBローカル+LAN]を選択



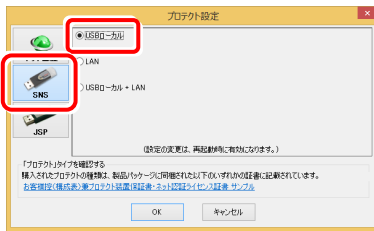
【JSP-LAN-R】を使用する場合は、[サーバー名]に【JSP-LAN-R】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。

▼ (次ページへ続きます)

【SNS-W】を使用



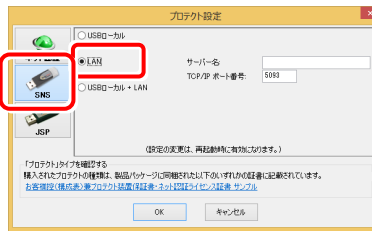
[SNS]－[USBローカル]を選択



【SNS-LAN-X】を使用



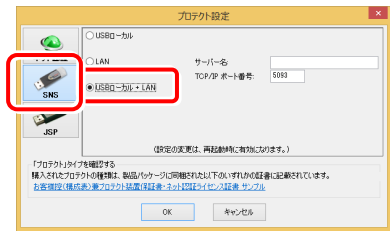
[SNS]－[LAN]を選択



【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用



[SNS]－[USBローカル+LAN]を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」※の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。 ※ 60ページ参照

Q.3

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the main interface of the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' application. It includes fields for server name and user ID, a license table, and control buttons for license authentication, automatic updates, and service management. A secondary 'サービス設定' (Service Settings) dialog is also shown, detailing connection and logging options.

[サーバー名]
サーバーのコンピューター名が表示されます。

[ユーザーID]
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[サービス設定]
接続設定やログファイルを設定します。
[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。
[使用状況ログ]タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

[ライセンス認証]
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

[自動更新設定]
認証の自動更新処理について設定します。

[開始]
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

[停止]
サービスを停止します。

[最新に更新]
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

[サーバー接続ユーザー一覧]
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

[オプション利用ユーザー一覧]
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

Q.4

USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス管理について教えてください。

A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC JSP-LAN-R6 サーバ」で管理します。

「FC JSP-LAN-R6 サーバ」は、「USBプロテクト【JSP-LAN-R】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ]—[FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]を実行してください。

[サーバ]
JSP-LAN-Rプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

[ユーザID]
JSP-LAN-RプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。JSP-LAN-Rプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザ]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。

[動作ログ]
誰がいつ何を処理したか、およびエラー等の記録を残します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **[動作ログ]**には、「どのコンピューターが」「何時何分に」「どのライセンスを取得したか」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]に出力先のフォルダーを設定します。
 2. サービスを一旦[停止]ボタンで停止した後、[開始]ボタンで開始します。
 このとき[パス]には、必ずローカルハードディスクのフォルダーを設定してください。ネットワークの共有フォルダーの場合、サービスの開始ができません。
- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.5

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.5

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' application. It features a top section for server and user identification, a central table for license management, and a right-hand control panel with buttons for Start, Stop, Update, and Connect User. A separate 'オプション' (Options) dialog box is also shown, detailing connection settings and logging options.

[サーバ]
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピュータ名が表示されます。

[ユーザID]
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザー]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- [ポート番号]の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。